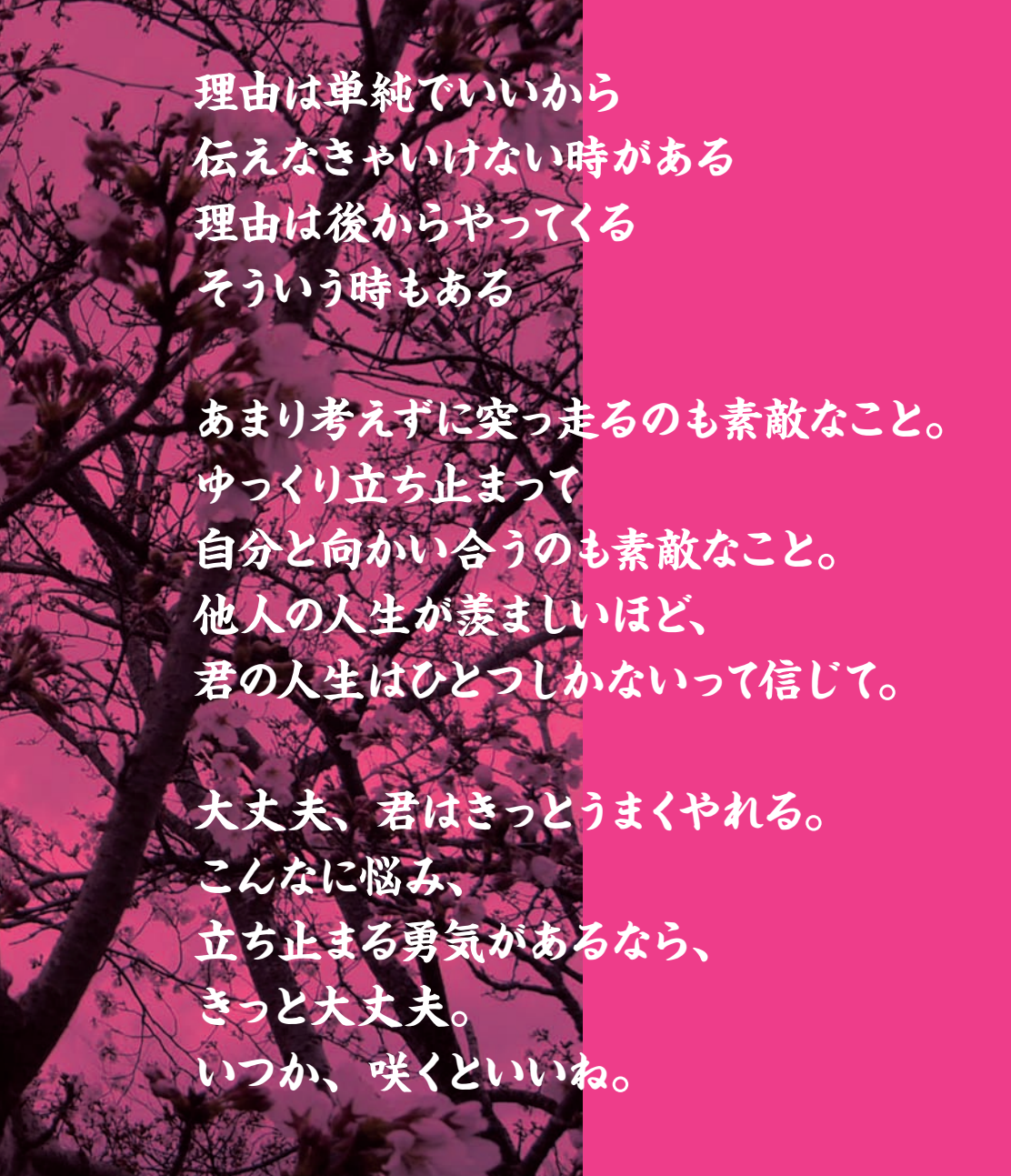


今 何をしているかではなく
今 どこへ向かっているかが
大切だと思うよ

過去は大事
だけど 流れる時の中にと
悲しくても 辛くても 戻りたくても
歩いていかなきゃならない

だから過去はパワーにして
歯車にしてガソリンにして
向かい風の中でも
進んでいかなきゃならないと思う

理由はどうだっていいから
進まなきゃいけない時がある



理由は単純でいいから
伝えなきゃいけない時がある
理由は後からやってくる
そういう時もある

あまり考えずに突っ走るのも素敵なこと。
ゆっくり立ち止まって
自分と向かい合うのも素敵なこと。
他人の人生が羨ましいほど、
君の人生はひとつしかないって信じて。

大丈夫、君はきっとうまくやれる。
こんなに悩み、
立ち止まる勇気があるなら、
きっと大丈夫。
いつか、笑くといいね。



何が失恋だ

落ち込むことだっただけであるけど

恋を失ってなんかないんだ

「あなたは今、何をしていますか？」

「何を…していませんか？」

それでも振り向かないさ

過去や可愛い嘘はなるべく肯定してみることに
決めたんだから。



「そんなことないよ、頑張れ。」
ありふれた想いが、強く背中を押す
ありふれた言葉の中に
数え切れないほどの想いを抱く



どの恋が本物だったのかな
取り戻せるわけでもない
時間を考えています

ううん
どの言葉も温もりも景色も
全部本物 ホンモノさ

辛い時もある
楽しい時もある
それが人生なんだ

ひとりを求めたって
結局二人が恋しくて
小さな複数を欲しがったって
やっぱりひとりになりたくて

わがままばかりの日々です

誰かに喜んでもらいたくて
一生懸命になって探しても
どこかに報われない自分がいて

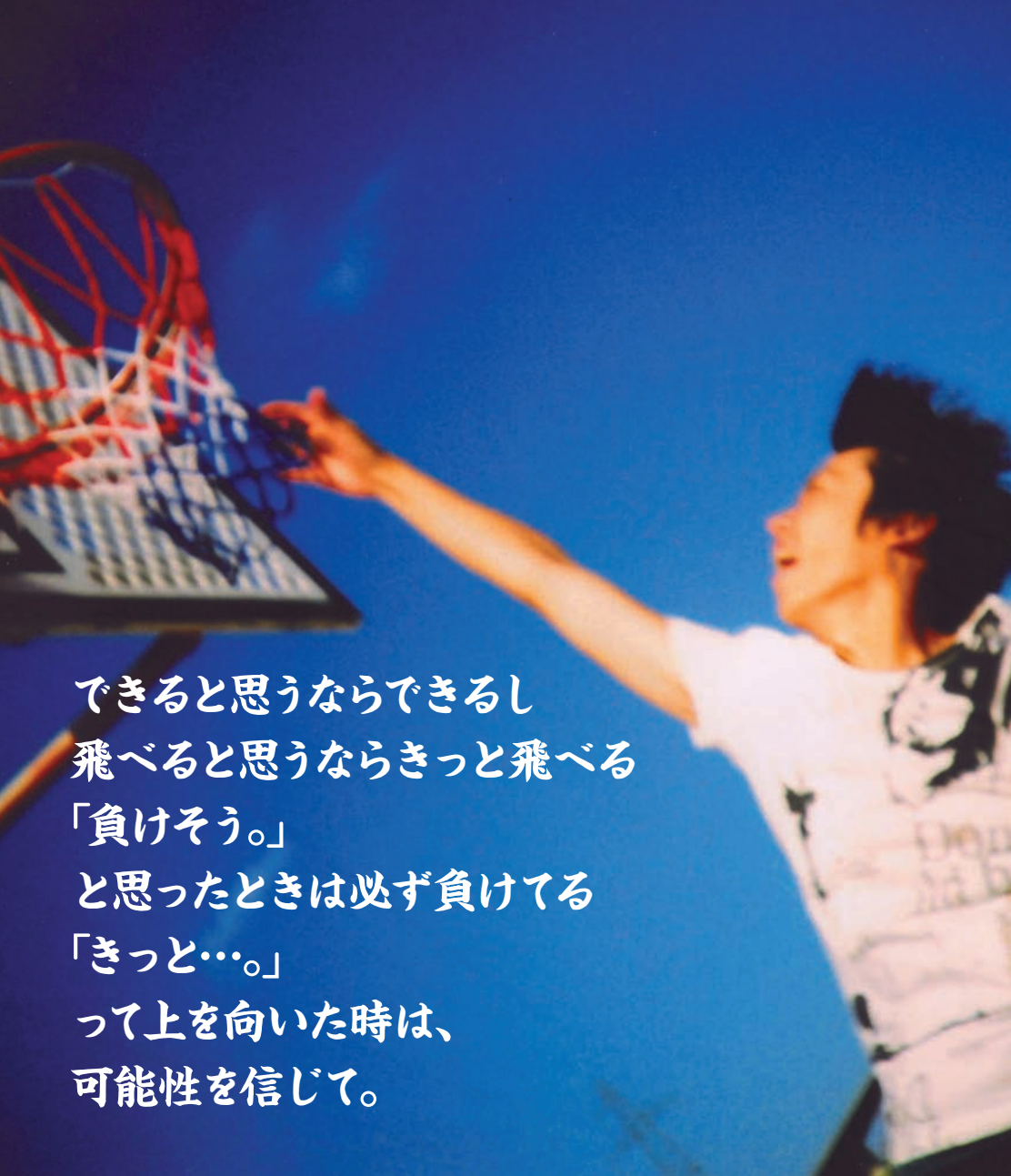


A photograph of two young men sitting on a wooden fence in a grassy field. The man on the left is wearing a red baseball cap, a blue and white plaid shirt, and red sneakers. The man on the right is wearing a light blue polo shirt and dark jeans. They are both looking towards the right side of the frame. In the background, there are trees and a cloudy sky. The text is overlaid on the image in white Japanese characters.

本当に本当に
人を喜ばせることができた時は
自分のために必死だった

カッコよさはきっと
その汗だくな顔から光り
ひとりの人にだけ届くものなんだと思う

ちくしょーと思う時もある
やったーって思える時もある
それが人生なんだ

A low-angle photograph of a person with dark hair, wearing a white t-shirt with a graphic, reaching their right arm up towards a basketball hoop. The hoop and red net are visible on the left side of the frame. The background is a clear, bright blue sky. The person's face is partially visible in profile, looking upwards.

できると思うならできるし
飛べると思うならきっと飛べる
「負けそう。」
と思ったときは必ず負けてる
「きっと…。」
って上を向いた時は、
可能性を信じて。



得意なものとは聞かれて

即答できなくて

手をつけてはみるけど 中途半端に終わってる

そんな気がしてた

素直に言えるのも 気づかずに溢れてるのも

心に秘めてた想いも

きっと夢。 「なりたい。」 気持ちがあやめ。